



税務署と選挙管理委員会が連携 模擬投票を取り入れた出前授業



平成29年7月14日(金)、千葉東税務署と千葉市選挙管理委員会は、植草学園大学附属高等学校（千葉市中央区弁天）において、1年生と2年生の生徒約440名を対象に「税の視点から選挙を考える～18歳からの選挙～」と題した税金と選挙の出前授業を開催しました。

税務署の職員から、身のまわりのさまざまな税金や日本の財政の課題、税金と選挙の関係などについての講義が行われ、選挙管理委員会の職員からは、若者が選挙に行くことの意義や選挙運動、具体的な投票の仕方などについての説明がありました。

その後、実際の投票所と同じ記載台や投票箱を使った模擬投票が実施され、生徒たちは財政の課題に取り組む候補者への投票を行いました。開票に当たっては、選挙管理委員会の職員と一緒に、生徒会の選挙などに従事している監査委員会の生徒も開票作業を行いました。

模擬投票を終えた生徒からは、「税金と選挙が関係していることがわかりました」、「どうして18歳から選挙権が与えられるようになったかを理解し、自分の意見を国の政策に反映させたい」、「私の一票が、税金の使い方を変えることがわかりました」、「来年、選挙権を持つ立場になるので、実際に選挙に行ってみたい」などの感想がありました。

なお、授業の様子の動画は、YouTube「国税庁動画チャンネル」に掲載されています。

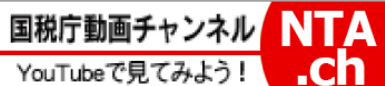


選挙は、自分たちの税金の使い方を選ぶことだと学びました。



初めての投票。思っていたより簡単だったという声が多くありました。

主催 植草学園大学附属高等学校（校長 植草 完）
千葉東税務署（署長 梶山 清児）
千葉市選挙管理委員会事務局



YouTube「国税庁動画チャンネル」では、全国の国税局・税務署の取組や税務手続についての動画を紹介しています。是非ご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=4swis4oC2oE>

■ このプレスリリースに関するお問合せ先

千葉東税務署 税務広報広聴官 菊池・天内^{あまひ}
TEL：043-225-6811（内線290・291）
自動音声案内に従い「2」を選択してください。



出前授業の様子



前半は、千葉県税務署の菊池 正春
税務広報広聴官による税金の講義。



クイズを交えた講義が行われました。



後半は、千葉県選挙管理委員会の
船越 俊雄 次長による選挙の説明。



投票のやり方の説明を、真剣に聞く生徒たち。



笑顔で投票用紙を投票箱に投函する生徒たち。



選挙管理委員会事務局の職員と一緒に
生徒も開票作業を行いました。